

## Raspberry Pi & 開発ボード向けUSB - M.2 SATAコンバータ

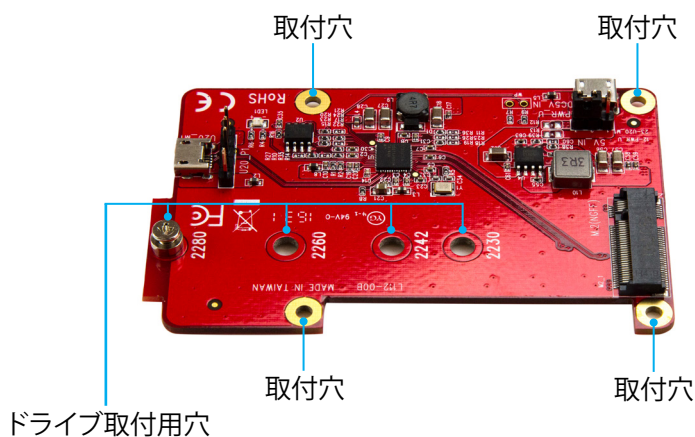
PIB2M21

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com  
 DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com  
 ES: Guía del usuario - es.startech.com  
 NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com  
 PT: Guia do usuário - pt.startech.com  
 IT: Guida per l'uso - it.startech.com

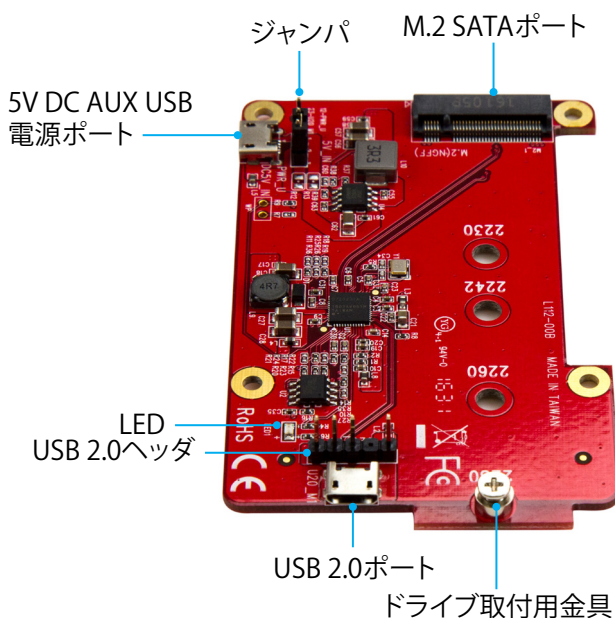
### はじめに

PIB2M21を利用すれば、M.2 SATAドライブを開発ボードに接続しデータ記憶容量と性能を向上させることができます。

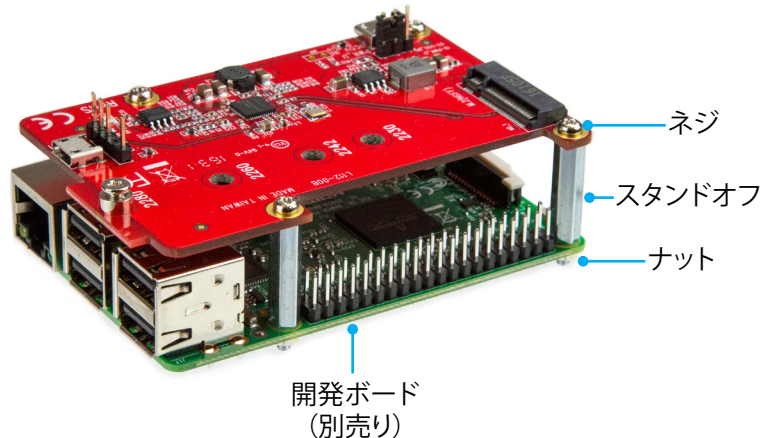
### 製品図



\*実際の製品は写真と異なる場合があります。



### 開発ボードに取り付けたコンバータ



### 電源モードの変更

コンバータには、バスから電力を供給したくない場合に使用できる補助Micro-B USBポートが搭載されています。AUX電源ポートは5V DCです。

ジャンパを使用してインターフェース電源の供給元を制御できます。デフォルトでは、コンバータのジャンパの位置はUSB電源に設定されています。電源モードを変更する方法については、以下の表を参照してください。

ジャンパの位置	モード
	USBパワード
	AUXパワード

### パッケージの内容

- 1 x USB - M.2 SATAコンバータ
- 1 x USB-A - Micro-Bケーブル
- 1 x アダプタ取付用金具セット
- 1 x ドライブ取付用金具セット (組立済み)
- 1 x クイックスタートガイド

### 動作環境

- M.2 SATAドライブ
- 開発ボード (例: Raspberry Pi)
- プラスドライバー
- 小型ペンチ

**注意:** PIB2M21は、M.2 SATA Bキードライブとのみ互換性があります。本コンバータは、OS独立型なのでドライバやソフトウェアは必要ありません。

システム要件は変更される場合があります。最新のシステム要件は、[www.StarTech.com/PIB2M21](http://www.StarTech.com/PIB2M21) でご確認ください。

# LEDインジケータについて

PIB2M21には動作状況を示す黄色のLEDインジケータが搭載されています。

## コンバータへのドライブインストール手順

付属のドライブ取付用金具には、ドライブ取付ネジ、スタンドオフ、およびナットが含まれています。

- お使いのドライブの長さによっては、予めインストールされた**ドライブ取付用金具**を移動させる必要があります。ドライブをコンバータの横に置き、ドライブの長さ合った**ドライブ取付穴**を確認します。**ドライブ取付用金具**が既に正しい位置にインストールされている場合は、手順4に進んでください。
- 小型ペンチを使用して、コンバータの裏側からナットを取り外します。
- 前の手順で取り外したナットとスタンドオフをドライブの長さ合った**ドライブ取付穴**に配置し、締め付けます。
- ドライブ上のM.2 SATAコネクタをコンバータの**M.2 SATAポート**の対応するコネクタまでゆっくりスライドさせます。  
**注意:**ドライブ上のコネクタは一方方向のみにフィットするよう加工されています。
- ドライブ取付ネジをドライブのノッチからスタンドオフに差し込み、ドライブ取付ネジを締めて所定の位置に固定します。

ドライブを取り外す場合は、プラスドライバーでドライブを固定しているドライブ取付ネジを取り外し、コンバータからドライブを引き出します。

## FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉が発生する場合（干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます）、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

## インダストリーカナダ準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。  
CAN ICES-3 (B)

## テクニカルサポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/supportまでアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。最新のドライバやソフトウェアは、www.startech.com/downloadsからダウンロードできます。

# StarTech.com

Hard-to-find made easy®

## コンバータのインストール手順

**警告!**ドライブとコンバータは、輸送中は特に、慎重に取り扱ってください。ドライブの扱いが不適切な場合、データを喪失してしまう可能性があります。ストレージデバイスは、必ず注意して取り扱ってください。コンピュータのコンポーネントをインストールする際は必ず静電気防止ストラップを着用して、身体を適切に接地してください。静電気防止ストラップが使えない場合は、大き目の接地用金属表面に数秒間触って蓄積された静電気を放電してください。

付属のアダプタ取付用金具には、ネジ、スタンドオフ、およびナットが含まれています。

- 付属のスタンドオフを開発ボードの取付穴に配置します。
- スタンドオフを所定の位置に取り付けるには、開発ボードの裏面にあるスタンドオフ・スレッドに付属のナットをネジ止めします。
- コンバータの**取付穴**と開発ボードに取り付けたスタンドオフの位置を揃えます。
- 付属のネジをコンバータの**取付穴**とスタンドオフに通し、所定の位置で締めます。
- 付属のUSB-A - Micro-Bケーブルでコンバータの**USB 2.0ポート**と開発ボードのUSBポートを接続します。

## 保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

## 責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害(直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

## 商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用する場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で用いられるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。